

学術集会 ご案内

第17回 日本生殖内分泌学会学術集会を迎えて



会長

吉村 泰典

慶應義塾大学
医学部産婦人科
教授

第17回日本生殖内分泌学会学術集会を平成24年12月8日（土）に東京ステーションカンファレンス（東京都千代田区丸の内1-7-12 サピタワー）で開催させていただきます。

本会は、産婦人科、泌尿器科、内科をはじめとする生殖内分泌に関わる臨床家と生殖医学に関わる基礎研究者が情報交換する大変学際的な学術集会です。近年の生殖医学の進歩は障目に値するものがあり、生殖現象の解明のみならず、ヒトの生殖現象を操作する新しい技術も開発されています。細胞生物学や先端生殖工学技術の飛躍的進歩に伴って、生殖医学も革命を受けつつあるといっても過言ではありません。このような生殖医学の発展は、実は発生生物学や生殖内分泌学の進歩に負うところが大きいと思われませんが、生殖領域の内分泌学の基礎研究に携わる臨床家が近年減少していることは大変残念なことです。本学術集会では、招請講演には Baylor College の Matzuk 教授をお招きし、シンポジウムとして「生殖内分泌における酸化ストレスとエイジング」を企画しました。若き研究者に生殖内分泌研究の醍醐味が伝えられるような学会にしたいと考えております。

多数の会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第17回日本生殖内分泌学会学術集会会長

吉村 泰典

慶應義塾大学医学部産婦人科